

新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

「川の生き物探検隊」で鏡川の生きもの調査！

8月23日(土)に、「鏡川環境保全の会」が主催する体験学習会「川の生き物探検隊」が開催されました！

市内の親子15組(約30名)を対象に、鏡川に棲む生きものについての学習会や、鏡川での生きもの採集と観察会、アユの塩焼きなどの昼食会を行いました。また、採集した生きものを、スマホアプリ「Biome」で判定し、「鏡川流域いきもの図鑑をつくろう2025」に情報を登録しました！

「鏡川流域いきもの図鑑をつくろう2025」とは



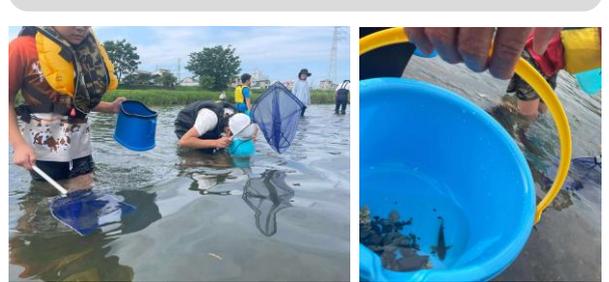
2025年8月1日～8月31日の期間、スマホアプリ「Biome」の「クエスト」機能を活用し、鏡川流域の動植物を調査するイベントを開催しています。鏡川流域で見つけた動植物を投稿して、みんなでいきもの図鑑をつくりましょう！



まず、藤田真二さん(元・株式会社西日本科学技術研究所所属)から、鏡川に棲む生きものや鏡川の環境保全の取組などについての講演がありました！



着替えを済ませて、鏡川にいざ出発！ひんやりした鏡川の水は本当に気持ちよく、癒されます！



高知市内の小中学生や高校生が主体的に活動する「鏡川水生生物研究会」もボランティアとして参加！鏡川を駆け回り、ヨシノボリやモズガニなど、たくさんの生きものを捕まえていました！



「鏡川環境保全の会」の会員さんに教わりながら、岩の下を網で突いて、岩陰に隠れている魚を探して捕まえました！



捕まえた生きものを大きな水槽に入れて、観察会を行いました！テナガエビ、ヌマエビ、ヌマチチブ、サワガニなど、多様な生きものを見ながら、特徴をじっくり観察します。生きもの情報を調べる際に、「Biome」が大活躍！



「Biome」で大きな貝を判定すると、「イシマキガイ」と表示されました！

今回の学習会で、新たに28件の動植物が図鑑に登録されました！

今後もぜひ、「Biome」を活用しながら、鏡川流域の動植物を観察してみましょう♪



昼食は、会員さんが2時間以上かけて丁寧に焼いたアユの塩焼きをいただきました！ラン藻をたくさん食べて育った鏡川のアユは身が大きくて食べ応え抜群！鏡川流域の食の恵みを味わいながら、アユをはじめとする多様な生きものが棲む鏡川流域の環境を守っていく必要性を改めて感じました。



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android